

東温市では、廃食用油の公共施設・市民回収を推進するとともに、回収した廃食用油を原料とするバイオディーゼル燃料を、株式会社ダイキアクスD・Oil松山事業所で精製し、学校給食センター（施設能力:4,000食/日）のボイラ燃料として使用する「バイオマスエネルギーの地産地消」によるCO2削減事業に取り組んでいます。なお、BDFのボイラ燃料利用でのJ-VER取得は、全国初の事例になります。

プロジェクトの実施場所	愛媛県東温市
削減量(予測)	年間 272 t-CO2
在庫量	225 t-CO2(24年7月時点)
クレジットの次回発行予定	平成24年9月
1t-CO2あたりの希望単価	¥3,800～ 数量別最低販売価格設定

東温市では、J-VER(オフセット・クレジット)売却収入を**地場産給食・食育推進**に充て、子どもたちの健康や食の安全・安心の確保を図ります。また、給食残渣の資源循環利用、裸麦など特産物や加工品のブランド化、米粉利用、エコファーマー支援など「環境と経済の好循環」を推進することで、「環のまちづくり(ロハスタウン)」を目指していきます。

更に、市では、小学校7校の5年生を対象に「とうおん子ども科学&環境会議」を毎年開催し、廃食用油のBDF変換実験、BDFカート試乗などバイオマス環境教育プログラムを実施しています。一方、地域でも油糧作物のヒマワリ作付や搾油、油のブランド化、食農、廃食用油回収の循環教育が実施されています。



学校給食センター外観



[もち麦畑]



ヒマワリ油でさつま芋のてんぷら 食育授業

■担当者連絡先  
東温市 市民福祉部 市民環境課 新エネ推進室 池川  
TEL: 089-964-4415 EMAIL: i-eisin@city.toon.ehime.jp